

I 高等部上五島分教室体育祭

新上五島町の地域の方々や上五島高校の保護者の温かい励ましの応援、上五島高校生の熱くも心温まる声援を受けながら、高等部上五島分教室の生徒が、自己の目標達成に向けて、持てる力を精一杯発揮しながら競技や演技、係活動に取り組みました。私が体育祭をとおして考えたことや感じたことは次のとおりです。

○プログラムについて

今年度の体育祭プログラムには、「第12回長崎県立佐世保特別支援学校高等部上五島分教室 体育祭」のタイトルが加えられ、佐世保特別支援学校の校歌が掲載されました。上五島高校の和田校長先生をはじめ、職員の皆様に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

○競技について

高等部上五島分教室（以下「分教室」という。）の生徒と上五島高校の生徒が共に競技に参加しました。「耐えろ先生からの重圧【力比べ】」では男子生徒が20キロの砂袋を持ち上げたまま耐える競技。なんと分教室の生徒が1位になりました。競い合う仲間いることで分教室の生徒も想像以上の力を発揮したのだろうと感動しました。体育祭の競技については分教室の生徒も一緒に競い合える競技の在り方について工夫を重ね、何度も検討されていることを実感することができ、有難いことだと感じました。

○目標達成にこだわる

体育祭は「1団」「2団」「3団」が得点を競い合います。分教室は「3団」で総合優勝は「1団」でした。優勝を勝ち取った上五島高校の代表生徒は表彰式のとき涙を浮かべていました。きっと優勝を目指し、必死になって取り組んだ人にしか流せない涙ではないかと感じました。様々な行事や学習において、目標達成にこだわること、しかし、出た結果にはあまりこだわらなくていいこと、取り組む過程がとても大事で、人を助けたり、人から助けられたり、人を応援したり、人から応援されたりしながら必死に取り組む経験は、仲間とのかけがえのないつながりを生み出すものだと感じました。